

希望の航路



かしこく つよく

さわやかに 伸びゆく子

文責 校長 大平 啓二

加津佐っ子の心を見つめる教育週間 6/15～6/21

加津佐っ子の心を見つめる教育週間

南島原市立加津佐小学校
公開期間：6月15日(月)～6月21日(日)

【授業公開】
6月15日(月)～6月19日(金) 9:30～14:20

- 15日(月)：8:15～校舎掃除
9:30～たんぽぽの会(音楽室)
- 16日(火)：8:15～校舎掃除
9:30～ALTとの外国語学習(各教室)
午後：3・4年生水泳指導
- 17日(水)：午前中 1年生水泳指導
13:35～5年生水泳指導(しゅうか)
- 18日(木)：給食：校長先生ランチ(校長室20)
- 19日(金)：13:35～全学級公開授業(道徳) 学級集会
14:35～学校支援会議
15:30～加津佐小学校保健委員会
- 21日(日)：PTA 親睦球技大会

6月15日から21日までの1週間を「加津佐っ子の心を見つめる教育週間」と位置づけ、学校を開放し、多くの人に授業の様子を見ていただきました。また、PTA親睦球技大会や学校支援会議など、期間中に保護者や地域の方との交流もありました。特に、19日の道徳の授業参観では「命」や「心」について考えるきっかけとなる題材を取り上げました。

20数年前に長崎県内で起きた、尊い命が奪われた痛ましい出来事を決して繰り返すことがないよう、教育週間での取組をはじめとして今後も年間を通じて、命や心を大切にできる豊かな人間性を育む機会を多く作っていきます。目指すところは、「つながり」と「成長」とおして『心を磨く』教育活動の充実です。



19日 道徳の授業参観



＜学校支援会議＞
各地区の振興会長や民生委員、社会教育委員の方々等で構成。

【読み聞かせで本の世界へ】6/15・17

15日は、たんぽぽの会の皆さんによる読み聞かせが低・中・高学年ごとにありました。子供たちの発達段階に合わせてプログラムも工夫しており、子供たちも本の世界へ引き込まれていました。また、17日には、PTA による読み聞かせもあり、本を通じて心を豊かにする機会をもつことができました。ありがとうございました。



6/17 PTA の方の読み聞かせ

たんぽぽの会のみなさんによる読み聞かせプログラム



【校長講話】ひとつの命 ひとつの言葉

16日の朝に、校長講話を行いました。伝えたことは、次の3点です。あわせて詩を紹介しました。

- ① 生きていることが決して当たり前ではないこと
- ② 「あたりまえ」の反対が「ありがたい」であり、そこから生まれた言葉が「ありがとう」であること
- ③ 1つの命を大切にするためにみんなができること、1つの言葉を大切にすること

